

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立さつき野小学校

校長 佐古田 英樹

中学校区におけるめざす子ども像
「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども。
「豊かな心」9年間を通して正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども。
「健やかな体」心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども。

令和6年度 重点目標
教師としての誇りと豊かな人権感覚を持つ
・わくわくする質の高い授業の創造：子どもと子ども、子どもと教師の協同。1人1台パソコンの活用 ・チームとして取り組む生徒指導体制の確立：いじめ未然防止、早期発見・早期対応。不登校対応 等
・危機管理意識の向上：「～かもしれない」という感覚

確かな学びの現状
全体的に学習に向かう姿勢は良いが、全国学力テストの質問紙項目「将来の夢や目標はありますか。」の項目においては、過去数年連続、全国平均を下回っている。このデータをさつき野学園の課題としてとらえ、R5年度は4つの情報活用能力(問いを持つ力・情報を集める力・整理分析する力・まとめ表現する力)を育成する授業づくりで、全教職員が一人一回公開授業を行い、実践を蓄積した。成果としては、教職員は情報活用能力を意識して授業をすることができたことである。一方、課題としては、児童が情報活用能力が身についたことを自覚できているのかという意見が、反省から出てきた。そこで、R6年度は、「自覚」をキーワードに、授業研究を進めていく。また、昨年度同様、小学校での基礎的学力の育成の取り組みとして、各学年「数と計算」領域の習熟をはかり、年度末には検定テストを実施する。

豊かな心・健やかな体の現状
数年前から行っている食育への取り組みや、体育行事として小中合同の大運動会、冬の持久走を行っている。大運動会は全学年合同で行い、中学生が中心となり大運動会の準備や運営を行う。体力の向上をめざしながら様々な学年と交流することで、人間関係の広がりやつながりを通して、上級生は下級生を思いやる気持ち、下級生は上級生に憧れを抱くなど、心の育みにもつながっている。
また、小中での交流授業を行い、様々な学年と交流しながら学ぶ機会を設けている。異学年との交流をする中で、多様な価値観に触れることができている。小中一貫校の特徴を活かし、児童の豊かな心、健やかな体が育まれるよう、活動の工夫をしている。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)
【確かな学び】4つの情報活用能力「問いを持つ力」・「情報を集める力」・「集めた情報を整理・分析する力」・「情報をまとめ・表現する力」の育成に力を注いだ。アンケート結果から昨年を上回る結果を得たことから、その成果があったと考えている。
【豊かな心・すこやかな体】アンケート結果から、今年度の取り組みの成果があったと考えている。なお、個々の子どもの目標や能力に応じた運動のカチについて検討し、意欲の向上、体力の向上に努めていきたい。
【地域協働】学園の取り組みを積極的に発信し、学園、保護者、地域が一体となった取り組みをより一層推進していく必要がある。
学校関係者評価者から(年度末)
児童のみなさんの学習活動を見ていると生き生きとしており、学校全体で素晴らしい取組がされていることを実感します。
これからも従来の教育活動に加えて、小学校・中学校を通しての一貫した取組が充実することで、子どもたちの笑顔が絶えない学校になることを願います。